

## 第12回フォーラム 情報交換・討議テーマ

テーマ 1 : コンクリート構造物において再劣化を抑制する補修技術(補修材を含む)

<ニーズ>

- コンクリート構造物の化学的劣化要因による再劣化を抑制し、かつ従来工法との比較をするために耐候性、耐荷性等を含めたLCC評価が可能な補修技術(補修材含む)。

テーマ 2 : 橋梁点検等における近接目視(触診・打音含む)の代替え技術

<ニーズ>

- 撮影写真等から解析を自動で実施し、判定結果或いは判定の指標を示すもの。
- 暗所でも点検、診断でき、近接目視と同等の成果が得られる技術。
- 職員でも扱える安価な技術。

テーマ 3 : 歩道橋舗装の効果的な改良又は補修方法について

<ニーズ>

- 駅直結の歩道橋であることから、通行止めを伴わない施工方法であること。
- 積雪も考慮し、路面が滑りにくい仕様であること。
- 施工後のメンテナンスが容易であること。

<現況>

- 舗装厚2cm程度。

テーマ 4 : 舗装の経年劣化に伴う骨材の飛散等による、舗装の損傷状況を総合的に判断できる技術

<ニーズ>

- 舗装の表面状況(ざらつき)を把握できる技術。
- ひび割れ率等と同時に調査できることが望ましい。

テーマ 5 : 舗装の路盤・路床等の損傷度を効率的に調査する技術

<ニーズ>

- 路面性状調査と同時に、路盤・路床等の損傷度が分かる技術。

テーマ 6 : 橋梁の変位を常時モニタリングする技術

<ニーズ>

- 橋梁において、変位を遠隔でモニタリングし、設定値以上の変位があれば自動で管理者に通知する技術。

テーマ 7 : 河川護岸の点検画像を解析等により、簡易に損傷度判定を行う技術

<ニーズ>

- 職員がドローン等で撮影した画像(動画)を自動で解析し、損傷状況(ひび割れ幅、延長等)を把握する技術。
- 経年的な損傷状況の変化を把握する技術。

テーマ 8 : 都市河川で発生する浮遊汚泥(スカム)処理を自動化・遠隔化する技術

<ニーズ>

- スカムの破碎または回収を自動又は遠隔で行う技術。  
(例えば、スカムアラートと連動し、発生場所まで自動航行、破碎・回収する等)

テーマ 9 : 港湾構造物の水中考査を効率化する技術

<ニーズ>

- 潜水士による目視点検に代わる技術。

テーマ 10 : 管路内部の画像(動画)から損傷箇所を検知する技術

<ニーズ>

- 管路内部を撮影した画像(動画)から自動で損傷箇所を検知する技術。